

調停実績報告書

報告者： _____
 報告番号： _____
 調停開始： _____ 年 _____ 月
 調停終了： _____ 年 _____ 月

1．事件項目名：(複数回答可) 設計監理料請求事件 請負代金請求事件 売買代金請求事件 損害賠償請求事件 その他 ()	7．不具合の部位 (複数回答可) 地盤、基礎 柱 梁 外壁 屋根 内装 床 天井 階段 建具 設備 (電気 給排水 衛生 その他) () その他 ()
2．事件当事者 (複数回答可) X (申立人、原告) 注文者 設計者 監理者 施工者 その他 () Y (相手方、被告) 注文者 設計者 監理者 施工者 その他 () Z (利害関係人) 注文者 設計者 監理者 施工者 その他 ()	8．不具合の事象 (複数回答可) 地盤沈下、傾き 構造上の安全性欠如 亀裂、ひび割れ 仕上げ不良 壁厚、コンクリート被り厚さの欠如 漏水、雨漏り 結露、かび 遮音 シックハウス その他 ()
3．建物の種別 (複数回答可) 戸建て住宅 (注文住宅 建売住宅) 共同住宅、マンション 事務所ビル 商業施設 工場 その他 ()	9．不具合の原因 設計 工事監理 施工 その他 ()
4．建物の構造・階数・規模 構造 木造 (軸組工法 枠組壁工法) 軽量鉄骨造 鉄骨造 (ALC その他 :) 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 その他 () 階数・・・()階建て 規模・・・()m ²	10．専門分野 (複数回答可) 意匠 構造 施工 材料 積算 設備 地盤 その他 () 記入に当たって、該当する項目にレ印を付けて下さい。 該当する項目がない場合は、その他にレ印を付けて、内容を括弧内に記述して下さい
5．工事の形態 新築 増改築 (改装を除く) 改装 その他 ()	
6．紛争の態様 (複数回答可) 瑕疵の存否、補修方法および補修費用 出来高・報酬額の算定 建築工事による近隣建物の被害 契約の存否・内容 その他 ()	

1 1 . 事件概要の補足 : (以上の 1 ~ 10 の選択式回答では不十分と思われる事柄について、
具体的に文章で記述して下さい。)

1 2 . 事件経緯 : (時系列に契約時から訴えの提起、調停成立 (不成立) までを記述して下さい。回数
が多く書ききれない場合は、数回分をまとめて記述して下さい。)

年	月
年	月
年	月
年	月
年	月
年	月
年	月

調停成立 調停不成立 第 1 7 条決定

1 3 . 瑕疵等の主張と反論 : (主要な争点はどのような点にありましたか。整理して記述して下さい。)
申立人の主張 :

相手方の主張 :

1 4 . 建築専門調停委員として : (調停委員会に調停案を提示しましたか。 提示した していない)
14-1 提示した調停案 :

14-2 根拠 : (根拠とした法律、基準、文献等がありましたら記述して下さい。)

15 . 調停委員会調停案 : (調停委員会として、当事者双方に調停案を提示しましたか。
提示した 提示していない)

15-1 内容 :

15-2 根拠 :

16 . 調停結果 :

調停が成立した
調停が不調に終わった
17条決定を した
しなかった 調停委員会の意見書を添付 した
しなかった
申立人が訴えを取り下げた
その他 ()

17 . 建築専門調停委員としての所感 : (本事件からの教訓、建築的課題、学会・裁判所への意見など何でも結構です。)

社団法人 日本建築学会 : 司法支援建築会議